情報公開について

インフォームド・コンセントを受けない場合において，下記のとおり情報を公開します。

（研究課題名） 歯周治療の症例報告を用いたデータベース構築
（実施期間） 令和５年７月13日から令和７年３月31日
（意義・目的） 仮名化した臨床データをもとに、国内における歯周病の治療指針やリスク管理あるいは治療効果について解析し新しいエビデンスの構築を目指しています。この研究は東京医科歯科大学が主機関となり、本学部付属歯科病院および、国内の他の大学等と行う他機関共同研究であり、これまでに行った歯周治療の情報を収集し分析することを目的としています。
（研究方法） この研究は、日本歯周病学会の専門医、認定医あるいは認定歯科衛生士が申請時に提出した臨床データを仮名加工情報としてデータベース化し、その病態や治療効果の分析を行います。研究に用いる臨床データは、年齢、性別、喫煙歴、内科的な疾患（糖尿病など）、歯ぎしりの有無、歯周炎の診査（歯周ポケットの深さ、プロービング時の出血、歯の動揺度、プラークコントロールレコード）および口腔内写真とエックス線画像です。これらの仮名化された患者さんの検査値を日本歯周病学会のデータベースへと出力を行います。なお、複数の施設から集積されたデータの評価・解析は電子媒体を利用し、東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科教育メディア開発分野管理のもと、クラウド上に保管します。
（問い合わせ窓口） 日本大学歯学部付属歯科病院歯科衛生室　　　研究責任者　坂井雅子 連絡先　電話　03-3219-8088

本研究に御賛同いただけない方は，上記まで御連絡ください。